

# 患者の皆様へ

2020年12月16日  
食道・胃腸外科

現在、食道・胃腸外科では、「食道がんの遺伝子変異の種類と、予後・治療抵抗性の関係性」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2000年1月1日～2022年3月31日に当院で食道がんの治療を受けられた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

「臨床情報と TP53 DNA 変異情報、RNA 発現量の解析に基づく  
食道扁平上皮癌における新規 TP53 標的治療の開発」

## 2. 研究の意義・目的

比較的予後不良である食道がんにおいてもっとも多く遺伝子変異がみられる TP53 遺伝子には、いまだに標的治療が存在しない。TP53 遺伝子変異そのもの、あるいは変異の種類による機能の違いを明らかにし、TP53 遺伝子を標的とした新規治療の開発につなげ、予後の改善を目指す。

## 3. 研究の方法

2000年1月1日から2022年3月31日の間において、手術、生検、採血の検体から TP53 遺伝子変異情報を獲得し、診療録に記載されている病歴、身体所見、血液検査値、画像データ、治療（手術、抗がん剤、放射線）への感受性、予後などの情報を統合して検討し、TP53 遺伝子変異と治療効果の関連を調べる。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

## 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。また、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて  
揭示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院 食道・胃腸外科

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院 食道・胃腸外科

医師 鎌田敏希

043 (222) 7171 内線 5294